

2015年度マリンバイオテクノロジー学会若手の会シンポジウム報告

2015年度のマリンバイオテクノロジー学会若手の会シンポジウムが、11月20日に開催されました。この会は、これまでマリンバイオテクノロジー学会懇談会として続いていたものを、昨年からは若手の会で企画・運営を行うこととなり、今年度は若手の会シンポジウムと名前を変えて開催されたものです。若手の会では「今この先生の話を知りたい！」というコンセプトの下、講師として、琉球大学の池田譲先生と愛媛大学の杉浦美羽先生をお呼びしました。

当日は雨まじりの曇り空でしたが、会場となった東京大学中島薫一郎記念ホールに77名の参加者が集まりました。渡部会長の開会の挨拶に続き、池田先生から『『烏賊伝』やわからない知の志士たち』、杉浦先生から「光合成のエネルギー変換と物質交換：光合成の理解と応用研究はどこまで進んだか？」という演題で、それぞれ一時間の講演をして頂きました。池田先生からは、頭足類の行動からその高い知性を研究する面白さについてユーモアたっぷりに紹介をして頂き、また、杉浦先生からは光合成研究の最前線について、当初の苦労話も含め、詳しく話して頂きました。両先生とも内容は大変興味深く、質疑応答は予定時間を大きく超過して行われました。運営側としてはもう少し講演時間を十分にとれば良かったと反省していますが、質の高い講演と丁寧な質疑に応じて頂いた講師の先生方に心より感謝申し上げます。

シンポジウム後は東京大学農学部生協食堂にて懇親会が行われ、学生を含む45名が参加した賑やかなものとなりました。伏谷理事の乾杯で始まった懇親会は、最後は講師の先生方から学生と若手研究者への熱いメッセージで締めくくって頂き、盛り上がりましたことを付け加えます。

シンポジウム企画・運営 関口峻允・木下滋晴



講演をする池田先生



講演をする杉浦先生



質疑応答の様子